

1 班	参加者：石川，西山，林，鈴木，三原，中山，王，奥，申，村岡，高，丁，梶本秀子， 梶本千香子，劉，宮坂，玉村，篠原（全ての方が中国帰国者） 進行：珍田，戸田
テーマ	「老年活動中心（センター）」が必要！
実現したいまちのストーリー	中国帰国者の高齢者・子どもたちが集い，日本語をはじめいろいろなことが学べ，踊りや歌など多世代で交流を楽しむことができるまち。
跡地活用の提案	<p>日本語を学び，中国語でも交流ができる拠点</p> <p>「日本語を勉強する場所がない（少ない）」「病院に行っても話が通じない」 「日本語がわからず遊ぶところもない」「中国語で話す場がない」 →日常的に日本語を学び，会話ができる場所にしよう。</p> <p>高齢者も遊び，楽しめる施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻雀やカラオケ（歌う），ダンスができる場所にしよう（みんなと一緒に集い，遊べる場所） ・手工芸や高齢者が活動できる場所にしよう。 <p>高齢者と若い人が交流できる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけでなく若者とも交流できる場所にしよう。 <p>子どもが集える公園や高齢者が身体を動かせる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが遊ぶことができる公園にしよう。 ・スポーツセンターやプールなど身体を動かすことができる場所にしよう。
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の機会を広げてはどうか。 <p>【現在は：月2回（第1・3土曜日）13時-16時@5街区集会室 約30人参加】</p>
当日作成した活用ストーリー	

2班	参加者：橋爪，福富，立石，奥田，中嶋，山本，福井，西田 進行：神門，亀村
テーマ	『若者に魅力あるまち，向島に』
実現したいまちのストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業できる仕事のあるまち向島 ・ 若者や子育て世代が暮らす向島 ・ 子どもと親が集まるイベントでにぎわうまち <p>高齢化を迎え，今後の都市づくりには子育て世代が入居するよう抜本的改革をしよう。</p> <p>新たな分譲マンション，もしくは一戸建てを建てて若い人の入居を促す他，KINSHO を道路から見えるようにして外からの客を呼んだり，スタバ等大学生の好みに合わせた店ができる。</p> <p>京都市所有の土地を誰かが借りて起業家を集める，高齢世代は現役時代に得た経験や技術を有料で，向島域内で起業する若者にアドバイスをする。</p> <p>家族で参加できる催しを開き，食住が充実した向島で暮らしたくなる子育て世代が増える。</p>
跡地活用の提案	<p><u>二ノ丸小学校</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業できるオフィス ・ サークル活動 ・ 健康や運動を軸にした活動を行う ・ イベントの開催（向島城千姫行列） ・ コミュニティセンター（向島城を始めとする向島の歴史資料の展示や野菜の販売） ・ 体育館でのバスケなどスポーツ教室 ・ プールでの水泳教室 ・ 野菜や鮮魚などのみちの駅，トラック販売 ・ 向島「ラジオ」発信 <p><u>駅前周辺</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜や和菓子等の販売 ・ 駅を高架にして東西の流れをよくする ・ 商業施設をオープン <p>そのほか向島地域の中で「子どもや親が集まる行事」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的なマルシェ/朝市（野菜，手づくり，イベント発表，展示，バーベキュー） ・ 「年末向島大もちつき大会」
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	（二ノ丸小学校跡地を）「商業地にしたい」と地元の声を上げる。

当日作成した
活用ストーリー

—



3班	参加者 : 森元, 菅, 森, 福井, 山内, 山崎 進行 : 上代, 嶋崎
テーマ	『集いの場からはじまるまちづくり (イメージアップ)』
実現したいまちのストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地に「集いの場」をつくることから向島のまちのイメージアップを図りたい！ ・ 向島は通勤などの交通は便利な立地で緑も多く、平坦なバリアフリーのまちであるので、イメージアップが図ればもっと魅力的になれるはず！若い人にも高齢者にも住んでもらえるようにしよう！ ・ 集いの場で年配の人から若い人までが集うことから、助け合いのできるコミュニティが育ちます。 ・ 楽器の音などが出すことのできる集いの場ができれば、若者にも魅力的なまちになります。 ・ 趣味の活動ができるプログラムや、食事ができる設備、気軽にコーヒーが飲める場所などがあれば、世代を超えた住民同士の交流も生まれます。 ・ 「集いの場」以外にも、イメージアップを図る戦略として、市営住宅のリニューアル、駅前の活性化、中央公園や周辺の農地などの自然環境の活用、文教地区として子どもの教育の充実化を考えたい。 ・ さらに魅力アップする取り組みとして花火大会も復活させたい。
跡地活用の提案	<ul style="list-style-type: none"> ■集いの場 <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいきセンターのように充実した施設の整備（音が出せる・食事ができる・趣味の活動など） ■グラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者や子どもにとって魅力的な機能として広い芝生のグラウンド ■介護福祉・健康施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 向島住民が入所できる手頃な価格帯の介護施設・老人ホームなど ・ 健康相談や身体測定ができる「町の保健室」機能 ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多少の賛否がある施設でも、自治会費の負担をしてくれるなど、地域に貢献してくれる施設であれば誘致したい。
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	<ul style="list-style-type: none"> ■趣味の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集いの場で展開されるような「趣味の集まり」を開催しよう！ ・ 知り合いに絵手紙の上手な人もいる、コーラスグループもたくさんあるので、人材はいるのではないかな。 ・ コーラスグループがたくさんあるので、向島で第九のコンサートができるかも！？ ■夏休みの工作のお手伝い <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに子どもの工作や自由研究を手伝ってあげることができれば良い。 ・ 大工さんなども多いので工作を手伝うことはできそうである。

4 班	参加者：奥谷，于江，遠山，宮坂，篠原，于彦起，福井栄子，福井義雄（1 班にも途中から合流した方含む，全ての方が中国帰国者） 進行：杉本，鄭，郁
テーマ	『老人と子どもがいきいきとした街へ』
実現したいまちのストーリー	<ol style="list-style-type: none"> 1、帰国者がつかえる老人活動センターの開設 <ol style="list-style-type: none"> ①室内の活動センター（プール，ジムなど） ③ 中国人向けリクレーション ③日中文化交流（食文化，踊りなど） ④日本語学習センター ⑤中国語での健康，福祉情報の提供 2、子ども活動センター（インドア）の開設 <ol style="list-style-type: none"> ①子どもたちが勉強，スポーツ，遊びができる場所 ② 3 世，4 世代の子ども世代と 1 世の老人世代が交流できる場所 3、バスの増便 4、団地 1 階の空き住戸を学習支援室にする 5、図書館 2 階の活用。 上記によるよりよい住環境の実現
跡地活用の提案	インドア <ol style="list-style-type: none"> 1、子どもが室内で遊んだり勉強したりする場所。（子どもを見守れるように） 2、子ども，高齢者が集い交流できる場所，レジャー施設。 3、現有のプールをみんなに開放。 アウトドア <ol style="list-style-type: none"> 1、運動場の活用
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	<ol style="list-style-type: none"> 1、まず交流事業（地域住民同士，他地区の方々も）を実施する 2、イベントの開催（お祭り等） 3、小学校運動場の開放 4、日本語先生の募集
当日作成した活用ストーリー	

5 班	参加者：田中，井桁，中田，日高，森田，近藤，清野，廣田，米本，加藤 進行：小林，石井
テーマ	『おいしい町向島』『おしゃれな町向島』
実現したいま ちのストーリ ー	<p>【若者が来たくなる町・向島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 向島に若者を！お祭り・イベントを開催し呼ぶ。年1回，話題性→向島の魅力を発信する ・ 地元子ども達とおもちつき大会開催→地域活性化 ・ 吹奏楽，JAZZ ストリート（すばる高校） ・ まつり，イベントをおこなう ・ 写真映えする，フォトジェニックなまち ・ 来たくなる町，向島 ・ 若者を呼べるまち ・ おしゃれな個性のあるまち ・ 情報を伝えあう <p>【住みやすい町・向島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化（高齢化）子ども・命・障がい者→外へ出る，引きこもらせない ・ 障がいがあろうとなかろうと外出しやすい向島に ・ 高齢化に伴う様々な問題が提起される中，それを打破するキーワードは「子ども・若者」の育成。みんなで見守り大きく育てよう。 ・ 植物やいのちが育つリズムが身近にあり，いのちの育ち，死，再生とコラボできるまち <p>【全世代がツナガル町・向島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの食事 ・ お年寄りから赤ちゃん ・ 子育てママ向け料理教室 ・ 芝生 マルシェ オーガニック ・ 趣味のコーナー，焼き物，喫茶コーナー，談話 ・ 地産地消の野菜，果物趣味
跡地活用の提 案	<p>■活動の拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学区社協の拠点づくり。子育て，就労，療養，貧困，団体活動支援センター ・ 赤ちゃんからお年寄りまでが安心して集える場を作りたい ・ 小会議ができる部屋，イベントができる部屋 <p>■公園・広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごはん広げて食べられる公園 ・ 川で遊んでいた中央公園 ・ 寝転がれる芝生の公園 ・ 芝生や緑のある広場でオーガニックマルシェや手づくり市，ヨガや音楽。ダンスのワークショップなど子どもから大人までが交流できる市を定期的にできる場 ・ バーベキュー→地元の野菜を活用。地域の人，他地域の人が集まる場に!! <p>■あらたなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 向島中華街。1/6 が中国系の方々の向島 NT，神戸に負けない中華街を作ろう

ストーリーの
実現に向けて
これからでき
ること（いま
やっているこ
と）

- ・ 使いやすい公園のルール作りを、公園の規制緩和（すぐに公園でいろんなイベント等ができるように）
- ・ 大音楽イベントの開催を（JAZZ すばる高校吹奏楽部も参加する）
- ・ 公園等にキッチンカーを呼んでおしゃれな空間に
- ・ 芝生公園
- ・ BBQ
- ・ 水あそび（プール等）
- ・ ビアガーデン in 中央広場
- ・ 子どもも楽しめるカフェテラス
- ・ 地元野菜が身近に手に入る野菜の直売所を増やしたい
- ・ 農業体験の場づくり
- ・ 料理教室（向島キッチン、キッズキッチン、子育てママキッチン、多国籍キッチン（中国・留学生））

当日作成した
活用ストーリー



7 班	参加者：かどの（４街区）、佐藤（あいりん）、橋本（１０街区）、増田（１街区）、山口（３街区）、吉江（２街区）、山本 進行：田中、吉川
テーマ	『老いも若きも誰もが楽しめる複合施設』
実現したいまちのストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が安心して過ごせる場所 ・ 障がいがある方々も不安なく過ごせる場所 ・ 高齢者も生き活きと活動が出来る場所 ・ 宿泊もできる、運動施設もある複合機能を持つ建物がある ・ 施設内には集いがし易い多機能スペースがある小規模から大規模まで) ・ その複合施設を中心に向島の魅力（歴史や文化）を発信できる ・ 向島地域住民は優先的に利用したい ・ 多文化共生 ・ 農園にもなる ・ 災害時の避難場所にもなる場所
跡地活用の提案	<p><u>アウトドア</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人も子どもと一緒に楽しめるレジャー施設。BBQ など。 ・ 若者が交流できる場。 ・ 大人も遊べるようなものがあるとよい。 ・ 運動できる施設 <p><u>インドア</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが室内で遊べる（勉強する）場所。子どもを見守れるように。 ・ 大人も子どもと一緒に楽しめるレジャー施設。 ・ 子ども、若者、高齢者が集い交流できる場。 ・ 団地の１階をコミュニティスペース化
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず、交流事業（地域住民同士、他地区の方々も） ・ イベント開催（お祭り等々） ・ 運動場開放
当日作成した活用ストーリー	

8 班	参加者 : 松本幸子 日高幸子 長谷川光弘 石崎理美 佐々木眞琴 岩城隆久 山本麻由 進行 : 桐澤 藤田
テーマ	『みんな（住民も・来訪者も）が楽しい向島（向島の楽園）』
実現したいまちのストーリー	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが学び活躍する居場所がある 子どもと大人、高齢者がふれあう機会がある スポーツや音楽などの文化活動が活発で取り組みの拠点がある コミュニケーションをしながら買い物できるような、高齢者が生活しやすい商店がある
跡地活用の提案	<p>スポーツ、防災の拠点としてのグラウンドと施設</p> <p>跡地の中心には、普段はスポーツ活動の拠点、災害時には一時的な避難場所として活動できるグラウンドがほしい。</p> <p>また、周辺にはまちづくりの拠点、駅に近いエリアには、住民だけでなく来訪者も利用できる飲食店やカフェがほしい。</p> <p>グラウンド、施設の周辺には外周を設けて、散歩やウォーキング、ランニングができるように、また、反対側に移動しやすいよう通路を設け、医療や福祉の相談ができる場所、福祉施設、市民農園、生活必需品が購入できる店舗を配置する。</p> <p>活用の方法</p> <p>施設の管理などは住民である高齢者も参加し、活躍の場とする 地域住民の交流の拠点、子どもたちの居場所として活用する スポーツ合宿などで活用してもらい、空き室などに宿泊してもらう</p>
ストーリーの実現に向けてこれからできること（いまやっていること）	<ul style="list-style-type: none"> 所属している福祉活動を頑張る 所属している会社の事業所を向島に移転してくる 向島に足を運ぶ 自分の健康を維持し、住民同士の声掛けを心がけて暮らしていきたい
当日作成した活用ストーリー	

9 班	参加者 : 長井, 成瀬, 藤井, 大濱, 増田, 長沢, 森 進行 : 三林, 竹内
テーマ	『誰もがへだたりなく集まれる場所』
実現したいまちのストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学区の縛りがない場所で他の学区の方との交流をしている。 ・ 若者が交流できる場があるまち。 ・ まちのよさをわかってもらえる場所があるまち。 ・ 健康で笑顔あふれる暮らしができる。 ・ 向島がひとつになれる場所がある。 ・ 子どもと老人の関係をつくれるまち。
跡地活用の提案	<p><u>アウトドア</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人も子どもも一緒に楽しめるレジャー施設。BBQ など。 ・ 若者が交流できる場。 ・ 高齢者が子どもに教えてあげられる場所。教えてあげられることがあると思う。イチゴ狩りや農業, 遊びなど様々なジャンルが話題に出た。 ・ 健康遊具のように子どもも大人も遊べるようなものがあるとよい。 <p><u>インドア</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが室内で遊べる(勉強する)場所。子どもを見守れるように。子どもを見守る市営住宅の中には塾に行けない子どももいると思う。 ・ 大人も子どもも一緒に楽しめるレジャー施設。BBQ などは食べるのではなく交流することが目的だと思う。 ・ 子どもと老人が関係を持てる場所。菜園や花を植えるなど。 ・ 歌の集いのためのピアノと広いスペースをつくる。誰でも来られる場所に。 ・ 子ども, 若者, 高齢者が集い交流できる場。
ストーリーの実現に向けてこれからできること(いまやっていること)	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうじ, 草かり, 花いっぱいにして交流の第一歩にする。 ・ 中学生と向島の話をする! ・ 心と体の健康づくり「きまぐれサロン」を3月からつき1回 A, C 棟の集会室でやっている。 ・ 商店会まちの保健室 8月～訪問看護ステーション まちの健幸カフェ コミュニティスペース ・ 一健康菜園一たか場町 みんなの作業日 毎週水曜 AM8:30～10:30。 ・ あいさつをする。 ・ 子ども会の設立, 他学区との交流をしていきたい。
当日作成した活用ストーリー	

■7/1開催 向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 参加者アンケート 集計結果

本日の集いのご感想をお聞きます

回答数

51

問1

開催日・時間帯は適切だったでしょうか。

1 適切だった	2 わからない	3 適切でなかった	無回答
44	4	0	3
86.3%	7.8%	0.0%	5.9%

問2

集い開催時間の長さ（2時間30分）は適切だったでしょうか。

1 適切だった	2 長かった	3 短かった	4 わからない	無回答
34	13	3	1	0
66.7%	25.5%	5.9%	2.0%	0.0%

問3

グループで話し合う時間（約90分）は適切だったでしょうか。

1 適切だった	2 長かった	3 短かった	4 わからない	無回答
36	11	4	0	0
70.6%	21.6%	7.8%	0.0%	0.0%

問4

グループワークの内容：ビジョンゲームは今後の敷地活用やまちづくりにつながる機会になったでしょうか？

1 （よかつながる）	2 （よくながらない）	3 どちらでもない	無回答
48	1	1	1
94.1%	2.0%	2.0%	2.0%

問5

参加にあたっての配慮は十分だったでしょうか。

1 十分だった	2 どちらでもない	3 不十分だった	無回答
37	12	1	1
72.5%	23.5%	2.0%	2.0%

問6

参加してよかったでしょうか。

1 よかった	2 よくなかった	3 どちらでもない	無回答
50	0	1	0
98.0%	0.0%	2.0%	0.0%

問7

自分の意見を十分に言え、他の参加者の意見を聞くことができたでしょうか。

1 できた	2 できなかった	3 どちらでもない	無回答
50	1	0	0
98.0%	2.0%	0.0%	0.0%

番号	問 8 今後このような「話し合う集い」があれば、どのようなことを期待しますか。	向島ニュータウンのまちづくりへの意見
12	中学生、高校生、出資企業者にこの活動を知ってほしい。京都新聞やマスコミなどにこの活動を広報し、向島以外の府民や国民が知ってほしい。	
23	いろいろな世代、職業、専門職の人たちにも参加して住民、行政、企業等が等しく意見が出し合える場として夢で終わらせないために着実に実現しますように願います。また有識者の方の立場で公平な意見をもっと聞いてみたいと思いました。	団地の入居規制の緩和！ 自立できることがむづかしい方々のために「介護」「支援」と片よらない新たな制度を考えてほしい。 施設、老人ホーム、作業所等のわくに入れない人をどうするかを考えていただきたい。 外国からの帰国者支援をもっと強化が必要。
43	⑤グループに、すばる高校生の参加があった。是非、高校生、大学生（中学生も）の参加も働きかけてほしい	
46	特になし。あえて言うなら（暑かったかな…）	
49	中学生の参加	